

こうさい通信

NO. 93 令和3年4月

発行 社会福祉法人 東京弘済園
特別養護老人ホーム

弘 済 園

〒181-0013

東京都三鷹市下連雀 5-2-5

TEL 0422-47-8965

FAX 0422-41-1783

tokuyou_2f@kosaiken.or.jp



新年度を迎えて

園内の桜も満開になり、まさに春たけなわとなりました。1年前のこの時期から始まった新型コロナウイルスの感染も、未だに終わりの見えない状況のなか、利用者、ご家族の皆様のご協力により、お陰様で弘済園では一人の感染者を出すことなく、新たな年度を迎えることが出来ました。感染防止や重度化防止が期待されるワクチン接種が、三鷹市でもいよいよ5月6日から市内の高齢者施設で開始されます。コロナ禍においても、感染対策をしっかりと継続し、利用者の皆様が安心して、楽しく過ごしていただけるよう、職員一同取り組んでまいりますので、今年度もよろしくお願いたします。

満開の桜を満喫



コロナ禍の変化

令和2年度は丸一年、コロナ対策を最優先とした生活になってしまいました。

地域の方々との交流を目的とした東京弘済園まつりや、喫茶りんどうの他、クラブ活動による趣味の時間にまで影響があり、活動に制限が多い中で、利用者の方の生活に欠かせない活動を維持するため、当園では下記のような対応(一部)を行ってきました。

集団リハビリ

通常であれば、全フロア合同で行われる集団リハビリ。大勢で集まることを避け、各フロアにて少人数ずつ実施します。OTが中心となって行っていた体操を集団リハビリ担当の介護職員が覚え、毎週の実施を実現しました。



クラブ活動

ボランティアの先生にお休み頂いている分、担当職員が中心となりフロアで実施しています。書道クラブは見本を用意し、通常時と同じように利用者の方へ書きたいものを選んで頂いています。



訪問マッサージ

外部からの訪問マッサージについて、該当の方々には拘縮の防止等のため継続は必須になります。訪問するマッサージ師の方には、フェイスシールドエプロンの着用をお願いしています。施術しづらいことがあるかと思いますが、快く引き受けてくださっています。



故郷の徳之島へ

弘済園へ入所され、10年と1ヵ月生活なさっていた 三原アキ子様。

生まれ育った故郷 鹿児島県の離島「徳之島」へいつか戻りたいと願っていました。娘さんは、その願いを叶えたい、親孝行をしたいと思い弘済園を退園され「徳之島」に転居する決意をされました。

娘の竹田ほつえ様のご協力の元、故郷へ戻るまでを取材させて頂きました！



早朝でしたが、馴染みの職員も集まり、寂しいですが、お別れの挨拶をして見送り



2月25日
5:55 弘済園出発！！

介護タクシー
で移動！



車椅子はJALで貸して頂き、案内してくれます♪



機内にはベッドがあり
快適な空の旅！

7:00
羽田空港到着！

7:55
羽田空港離陸！

10:50
鹿児島空港到着！
・・・乗り換え・・・
16:00
鹿児島空港離陸！



長い時間空港で待機です！
沢山睡眠を取りました☆彡



『目指せ
100歳!』



17:05
徳之島到着！

介護タクシーにて
「徳洲会病院」へ
↓

3月11日「特別養護老人ホーム
天寿園」へ入所

島に帰ろうと思ったきっかけは…

- ★弘済園の職員が準備した島の写真や、島口漫談を聴いていた時、喜んでいたので見て。
- ★ご家族が退職され、自分がフリーとなった今、「最後の親孝行」と思った。
大きな決断だが、周りのサポートが大きな力となった。

到着後…
徳之島ではもう桜が満開ですと連絡を頂きました（2月下旬）❀



天寿園

自然豊かな故郷、徳之島で
ご家族と共にいつまでも
お元気で過ごしてください☆



コロナ禍で施設の受け入れも慎重になっていました。
ご本人は入所前に系列の病院で隔離の入院。入院は知人のサポートで実現できたとの事。
その後、特別養護老人ホーム天寿園へ無事に入所され、娘様も徳之島と東京を行き来し生活されるとの事です。

生活写真館



明けまして
おめでとうございます



互礼会・お正月レク



もちつき
よいしょ！！



大吉！！
獅子舞をみたら良い事あるかも



新年会



わたあめの会



あまくておいしい！！
カラフルでかわいい！！





節分

年女が
「福は内！鬼は外！」
豆まきを行いました！！



演劇DVD鑑賞会



笑いあり
涙あり



もっといっぱい
食べたいです！！



お刺身会



ケーキバイキング



選べて
楽しい！！

令和3年度

事業計画

(1) テクノロジー（ICT/IOT）の活用

ナースコール設備の更新に併せて、介護ソフト、ナースコール、端末（スマートホン・インカム）が総合的にリンクするシステムを導入しICT/IOTの強化に取り組み、業務負担の軽減、事故防止の強化、利用者サービスの向上を目指す。整備された施設内のWi-Fi環境を活用し、今後の見守りセンサー導入に向けての効果と夜勤業務に与える影響（巡回、看取り介護者の確認、夜勤職員の削減）を検証する。

(2) サービスマナーの徹底と不適切ケアゼロへの継続的な取り組み

昨年に引き続き、虐待・不適切ケアを起こさないための取り組みとして、職員個々のチェックリストによる振り返りと、サービスマナー研修を実施し、適宜上位職員より助言・個別指導を行う。身体拘束廃止委員会やフロア内においては不適切ケアについての話し合いを行い、対応策を検討する。また、サービスマナーの良い職員の互選を行う事で、モチベーションの向上につなげ、他の職員の対応で気になった時は、その場で伝ええるような雰囲気作りにも取り組んでいく。

(3) ご家族・後見人等のつながり

コロナ禍で面会に制限がある事、従来の家族会や交流会を行えない状況にある中、ホームページやユーチューブチャンネル、文書などを通じて日常生活の様子や家族へのメッセージ、情報の発信を行う。また日頃から利用者のご様子について担当する職員や看護師等からの報告を行い、その時々に応じた連絡や相談が行えるように心がける。状態変化に伴い、看取り期に移行する際も、最後までその方らしい生活を送っていただけるよう、可能な限りご本人の意思を尊重した医療とケアの実現を目指し、適宜十分な話し合いの機会を設けていく。

(4) 余暇活動の充実

コロナ禍で外出活動やボランティア講師等によるクラブ活動、外部ボランティアによる演奏会などが行えない状況下においても、楽しみのある生活を送っていただけるようオンラインを活用した音楽活動等新たな取り組みを導入して行く。また、日々の中で行えるレクリエーション活動や、実現可能なイベントを企画し、余暇の充実が図れるよう創意工夫して行く。

(5) 短期入所生活介護

- ①コロナ禍において、家庭内や他の利用サービスでの感染状況等により、自主的な利用控えや利用を遠慮いただく事例が生じているが、在宅介護を支える上で短期入所介護が果たす役割は大きいので、在宅での様子や入所時のチェック体制を徹底したうえで可能な限り事業の継続に努める。
- ②安定的な新規利用者の開拓に努めるため、つながりのある居宅介護支援事業所との良好な関係性を維持しつつ、ホームページの短期入所生活介護の案内を分かりやすく整備し、市内及び近郊の居宅介護支援事業所に向けて「利用案内」や「こうさい通信」を送付する。
- ③レクリエーションの充実や条件を整備してうえで、訪問美容サービスの利用を可能にするなど特色となるサービスの充実について検討していく。

令和2年11月～令和3年3月

◆寄 付◆ 池田 香代子様 竹田 廣文 様
廣政 梅夫 様
◆寄 贈◆ 相川 栄 様 井口 隆生 様
小林 薫 様 坂下 光江 様
田中 彩子 様 中村 友子 様
諸井 良子 様 吉村 知子 様
和田 裕子 様 鰐田 はるみ様

皆様ご協力ありがとうございました。

編集後記

コロナ禍の中でも、利用者の皆さんが様々な活動に参加され楽しんで過ごしている姿を見て、私たちも力をもらっています。弘済園の桜も満開となり、ワクチン接種も開始になるようで、明るい兆しとなることを職員一同、祈っています。

池田